

令和3年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業NO.1]

小規模企業景気動向調査 第4四半期 (R4年1~3月)

①業種及び地域別景気動向

業種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業			
	食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外食	旅館	理美容その他	運輸	
町内	売上額	↘☂	↘☂	→☁	↗☁	↗☁	↘☂	↘☂	↗☁	↘☂
	仕入単価	→☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↗☀	↘☂	→☂
	採算	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	→☁	↘☂
	資金繰り	↘☂	→☁	↘☂	→☁	↘☁	↘☁	↘☂	↗☁	↘☂
	業界の業況	↘☂	↘☂	↘☂	→☂	↘☂	↘☂	↘☂	→☁	↘☂
北信	↗改善		↗改善	↘悪化		↗改善	↘悪化		↗改善	
県内	持ち直しの動きに弱さがみられる									
全国※	-34.4↘		-30.1↘	-57.9↘		-82.9↘		-52.2↘	-52.6↘	

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

コロナ感染拡大第六波の影響で年始のスキー合宿のキャンセルが相次いだ(宿泊業)
 ようやく団体予約が回復した矢先に第六波により新年会のキャンセルが相次いだ(飲食店)
 人口減の方がコロナ感染拡大より問題である(理美容店)
 未だ材料の調達に遅延があり資金繰りに悪影響が出ている(建設業)

《北信》

パソコン関連は好調で、人員不足で残業が増加している(パソコン・制御機器)
 除雪作業の売上が前年度比200%の大幅増となる(土木工事業)
 まん延防止の施行により中心市街地の通行人は極端に減少している(衣料品)
 R6年適用のドライバーの残業時間上限960時間に向けてしわ寄せが危惧される(トラック運送)

《県内》

まん延防止等重点措置適用の影響と半導体不足による生産面の動向を注視する必要がある

《全国》

コロナ禍による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。
 産業全体：感染拡大の影響で、コロナ禍本格化後最大の悪化となった小規模企業景況
 製造業：回復基調から一転し、大幅悪化に転落した製造業
 建設業：需要の停滞、資材、原材料の高騰及び不足、人手不足等に苦しむ
 小売業：感染拡大や需要低迷に苦しみ、大幅な悪化に転じた
 サービス業：感染拡大や原油高の影響で記録的な大幅悪化となったサービス業

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」
 日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」